



第15回 初夏の

# 定期発表会

2025年6月27日

於 スタジオ・エンザ



福崎 實

曲名「月の砂漠」

作曲者 加藤 まさを

今年の正月オーストラリアのシドニーで過ごした折、近くの砂丘でラクダ20頭ほどの隊列に遭遇し、この曲が頭に浮かびました。

曲名「アルハンブラの思い出」

作曲者 ターレガ

今回6回目ですが、なかなかスムーズに弾けません。トレモロが難しいですが挑戦していきます。

丸山 登

曲名「恋心」

作曲者 エンリコ・マシアス

故郷アルジェリアへの郷愁の思いの曲であるが、タンゴのリズムで馴染みやよく受け入れやすいので彼の代名詞のような歌となり、この日本での地位を確立しました。

曲名「ミスターロンリー」

作曲者 ボビー・ヴィントン

フランク・プウルセル楽団によるイージーリスニング版はTOKYO FMのラジオ番組「ジェットストリーム」のテーマ曲として長年使用されました。城達也の艶のある声が蘇ります。

山本 周治

曲名「愛燦燦」

作曲者 小椋 佳

作曲者も歌っていますが、美空ひばりの感動的な表現が心を打ちます。二度目の挑戦ですが頑張ります。

横山 晶子

曲名「ラ・クンバルシータ」

作曲者 マトス・ロドリゲス

余りにも多くの人に知られているタンゴを代表する曲。「小さな行列」という意味だそうです。日本でもNHK紅白歌合戦で菅原洋一によって歌われました。

曲名「鉄道員」

作曲者 カルロ・ルスティケッリ

1956年のイタリアのドラマ映画で、第二次世界大戦後のイタリアの庶民の喜怒哀楽を、ある一人の初老の鉄道マンの姿とその幼い息子の目を通して描いた作品です。

佐藤 茂勝先生

曲名「シチリアーナ」

イタリア曲

ゆるやかな8分の6拍子か8分の2拍子で、ゆったりとした曲想と付点リズムが特徴的で、通常は短調の曲と定義されている16世紀ごろのイタリア曲